

## 近江の鎮守の森自然調査 2022 大宝神社（2）

〈開催日時〉 2022年5月7日（土）  
 〈集合場所〉 大宝神社四脚門 栗東市緒  
 〈参加人数〉 大谷事務局以下12名

「近江の鎮守の森調査2022」の調査対象は、今年度から大宝神社です。  
 調査場所は、【社殿～御神木周辺】【参道（南～西）】【芭蕉句碑～児童広場】【自由広場～蛇の池】【社叢林（林縁～林内）】の5ブロック  
 今年度2回目の調査は、社殿周辺を中心に境内・蛇の池を調査し、第1回目の調査の変化を観察しました。  
 本レポートは調査報告としてではなく、調査の雰囲気及び大宝神社の植物相の一端を感じていただくものです。

【境内1】社務所前から本殿までの境内までの調査 植栽種や外来種が多いように思いました。  
 画壁地付 四脚門 拝殿前で本日の調査の打ち合わせ

大宝神社 本殿



アラカン



ウスアカカタバミ



エノキ



オニドコロ



オランダミミナグサ



カニクサ



ギボウシの仲間



ハクソカスラ



クズ ツルの毛が目立つ



クチナン



クロマツ



コオニタヒラコ



シハイスミレの仲間



センニンソウ 古いツル



チチコグサモドキ



トウゴクシダ



トウバナ



ドクダミ



トラノオシダ



ナワシログミ



ネムノキ



ノブドウ



ハハコグサ



ハラン



ヒマヤユキノシタ



マツバウンラン



マンリョウ



ムクノキ



ムラサキカタバミ



ヤブラン



【本殿&裏】本殿には、貴重な「ハナヤスリの仲間」が生育していて、保全が必要。裏は、社叢林とのフェンスの内側、林縁の雰囲気だ。  
 サツキ 咲き始め ウラシロチチコグサ コナスビ



ハナヤスリの仲間



ヒノキの新芽



ロウバイ



アカカタバミ



アベマキ



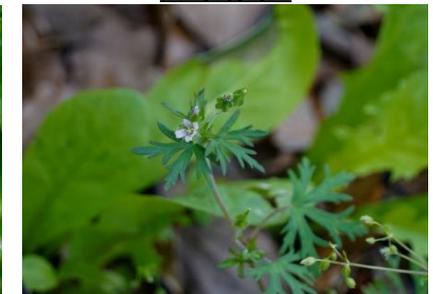
アメリカフウロ



イタドリ



イタバカスラ



イヌビロ



ウスベニチチコグサ



オオアリドオン



スギの新芽



カクレミノ



カラスビシャク



カリンの樹皮



クサイ



クサギ



クスノキ



ケチチミザサ



コセンダングサ



コブシの葉



サネカスラ



マスキサ



ハナヌカススキ



ミツバアケビ



ヤブニッケイ



【蛇の池】 現在整備中という。公園風にするのでしょうか。

アヤメ



なかなか観察できない ウマノスズクサ



カクトラムオ



キショウブ



ヤブマオ





フトイ



マツバウンラン



【参道～芭蕉句碑】 第1回の調査でチェックした117種の1ヶ月後の変化や追加種の観察を行った。

アマチャツル



イヌガラシ



オオジシバリ



オヤブシラミ



カラスウリ



キツネアザミ



クマザサ



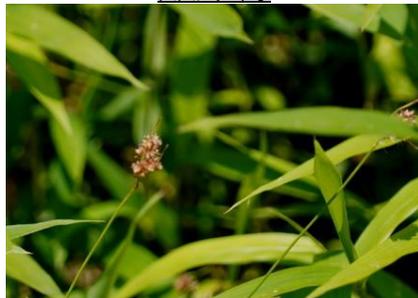
コナスピ



シナダレスズメガヤ



スズメノヤリ



ツボミオオバコ



テイカカズラ



ナガミヒナゲシ



ナツツタ



ニガナ



ニワゼキショウ



ネムノキ



ハナヌカススキ



ハハコグサ



ハルジオン



ヒメコバンソウ



ハビイチゴ



マメグンバイナスナ



ムラサキカタバミ



ユウゲショウ



【感想】

「近江鎮守の森自然調査2022」は、大宝神社です。私は、今年初めての同好会活動であり、大宝神社も初めて訪れました。広い敷地を持った由緒ある神社であること、市街地に立地しているの  
在来種・外来種・園芸種など多彩な植物相とと思いました。社叢林の調査が楽しみです。  
写真レポートは、久しぶりなので調査活動に写真撮影が追いつかず、ピントが甘いものが多いです。  
天候に恵まれ、充実した楽しい活動になりました。参加者の皆様に御礼申し上げます。

(文責：村山和夫)